

知事メッセージ

11月は、「秋のこどもまんなか月間」です。

この月間においては、行政機関や関係団体などが協力・連携し、子どもや青少年の健全な育成に関する取組を全国で集中的に実施することとしており、京都府といたしましても、青少年の健全な育成について皆様の関心と理解を深め、この活動の一層の充実と定着を図る取組を関係団体の皆様と共に取り組んでまいります。

さて、近年、SNSの普及などにより青少年を取り巻く環境は大きく変化し、ネット上での誹謗中傷やいじめによる被害が深刻化しています。また、ヤングケアラー、児童虐待、ひきこもり等の家庭をめぐる課題のほか、学校、地域社会においても、多くの課題が顕在化している状況です。

次代を担う子どもや青少年の健全な育成は、私たち大人の責務です。子ども・子育てにやさしい社会づくりのためには、社会全体で子どもや子育て中の方々を支える機運を醸成する必要があります。

京都府では、こうした課題に対応していくため、家庭や地域において様々な支援を行うとともに、学校や警察、関係機関と連携を強めてまいります。

今後とも、すべての子どもがひとしく、健やかに成長することができ、未来に希望を持ち、生き生きとした姿と明るい声が地域の中で響き渡る「子育て環境日本一・京都」の実現に向けての取組をより一層進めてまいりますので、皆様方の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 11 月 9 日

京都府知事 西脇 隆俊

高校生メッセージ

「秋のこどもまんなか月間」in KYOTOには高校生を代表して、鴨沂高等学校吹奏楽部、桂高等学校書道部、そして桃山高等学校イベントプロデュース部・生徒会が参加しています。

私たちにとって身近な存在であるSNS。国立青少年教育復興機構の調査では、SNSを利用している高校生の割合は9割を超えています。SNSは、すぐに知りたいことを調べられ、遠くにいる人とも簡単に繋がることのできる便利な道具です。しかし、それゆえに危険に巻き込まれてしまう可能性があります。

例えば、最近では高収入のバイトと見せかけて特殊詐欺や強盗などの犯罪の実行役を募集する「闇バイト」が増加しており、警視庁の発表では、それに参加した5人に1人が少年だったといわれています。闇バイトはSNSを中心に募集されており、10代の約3割がSNSで闇バイトの募集を見たことがあるとも言われています。他にも、投稿した写真や動画により個人情報流出し、不正利用される、アカウントが乗っ取られるといった事例も少なくありません。

このように、SNSには便利な反面、危険も多く潜んでいます。そのため、私たちはSNSの危険性や正しい使い方について、今一度考え直すべきではないでしょうか。

また、私たち高校生も時には悩み、選択を間違えてしまうことがあります。そんな時には、強く責めず、優しく話を聞いていただけるとありがたいです。まだまだ未熟ですが、どうかそんな私たちの成長をあたたく見守っててください。

令和 6 年 11 月 9 日

京都府立桃山高等学校 生徒会 鹿戸 萌々子

■「青少年健全育成啓発パネル展」を京都府内 8 か所で開催



- 南丹広域振興局(南丹広域振興局 1F ロビー) /11月1日(金)~11月 29日(金)
- 京都府庁2号館1階展示スペース /11月18日(月)~11月19日(火)
- 京都市(京都市中央青少年活動センター)/11月7日(木)~11月12日(火)
- 「秋のこどもまんなか月間」in KYOTO(イオンモール KYOTO)/11月9日(土)
- 府民交流フェスタ(京都府立植物園)/11月3日(日・祝)
- 山城広域振興局(宇治総合庁 1階ロビー)/11月 1日(金)~11月 30日(土)
- 中丹広域振興局(福知山総合庁舎)/11月25日(月)~11月29日(金)
- 丹後広域振興局(1階府民ホール)/11月1日(金)~11月29日(金)

■「府民交流フェスタ」への参加 <日時> 11月3日(日・祝) <場所> 京都府立植物園



11月の秋のこどもまんなか月間の取り組みとして、協会ブースでは、啓発資料の配布活動や啓発パネル展、松ぼっくりツリーづくりとマリンピアのふくろうマグネットづくりの青少年の健全育成活動を行いました。

ほのぼのとした雰囲気の中で、親子や友だちと一緒に松ぼっくりツリー作りに楽しく取り組まれました。用意していた松ぼっくりすべてがツリーとなって、皆さまにお持ち帰りいただきました。

この日は、天候にも恵まれた暖かい日で、あっという間にフェスタが終了しました。

★自然豊かな京都府立るり溪少年自然の家などの松ぼっくりを使用しました。★